

【ビジョン】持続可能な魅力ある農業の実現による産地の再生

【課題】

- ①ヒト：高齢化による極端な担い手不足、労働力不足
- ②モノ：施設の老朽化、施設管理（賦課金）の負担大  
〔収入減（受益者）、支出増（維持管理費）〕
- ③農地：耕作放棄地の増加、鳥獣被害

【課題解決のキーワード】

- ・担い手への優良農地の継承（集積・集約）
- ・水利施設の適正化
- ・新規就農者の確保（地域外）
- ・稼げる農業
- ・労働力確保+省力化
- ・土地利用方法の話し合い

将来ビジョン(案)：中・長期

【地域全域】

施設の適正化

- 水利施設の適切な維持管理
- 使用しないラインの閉塞

土地利用方法

- 保全措置の実施  
(緩衝帯、林地化)

稼げる農業

- 経営の効率化、安定化（法人化など）
- 6次産業化

基盤整備

新規就農者の更なる確保、  
新規就農者の規模拡大

- 優良農地の基盤整備

【実現】

新規就農者の確保

稼げる農業

労働力確保+省力化

施設の適正化 (実施)

- 水利施設のルート変更
- 水利施設の計画的な更新

優良農地の継承

【中村】優良農地（基盤）  
地域担い手への継承

【東小松】優良農地（品質・集落周辺）

【川原】優良農地（品質・集落周辺）

施設の適正化 (実施)

- 畑かん施設の廃止
- 代替かんがい施設の整備

【松葉】優良農地（品質・作業性）

【一本松】優良農地（品質・作業性）

凡例	
	ファームポンド
	給水施設(スタンド)
	緊急遮断弁
	減圧弁
	JR(長崎本線)
	国道
	県道
	高速道路
	行政界

凡例	面積
経常受益地	61.7ha
維持管理費	25.6ha
遊地	20.0ha
ハウス栽培	5.0ha
板垣制限区域	0.6ha
鹿園	36.1ha
転用	

凡例	例
	幹線
	F1
	F4
	F6
	F7
	F8
	F9
	F10
	F11
	F12
	廃止路線

凡例(荒廃農地)	区分説明
	荒廃農地：区分1 荒廃農地を再生することにより、耕作が可能と見込まれるもの
	荒廃農地：区分3 森林の様相を呈しているものや、荒廃農地を再生しても、継続して耕作することができないもの
	荒廃農地：区分4 再生利用困難な荒廃農地のうち、農業委員会が農地に該当しないと判断した荒廃農地